

第15回 埼玉県競輪事業検討委員会 資料2

「今後の大宮双輪場の再整備について」

現在の状況

- 企画提案競技により、受託事業者を決定し、基本計画を策定中
- 主な記載項目
 - 現状と課題の整理
 - 関係法令等への適合
 - 多目的競技場のコンセプト
 - 多目的競技場として想定される機能（賑わい面と防災面）の例示
 - バンクサイズの検討
 - 競輪開催に必要な機能と規模
 - 想定事業費
 - 整備手法の整理
 - 収支見通し
- 整備スケジュール
- 次回の検討委員会で赤字部分等のご意見をいただきたいと考えている。
- その後、計画を固めていき、策定ができ次第、公表していく。

次回以降の検討委員会でご意見をいただきたい項目①

多目的競技場のコンセプト

自転車競技や他のスポーツ・競技との相互利用ができ、多様な来園者に楽しんでもらうことで大宮公園の賑わい創出に貢献するようなコンセプト（多角的に検討し2件以上提案のうえ協議し決定）

<基本計画策定に当たっての検討の視点>

- ・大宮スーパー・ボールパーク構想のコンセプトである『試合がある日もない日も楽しめる公園』とする
- ・新しい自転車競技の拠点として、多くの方々に親しまれるようなコンセプトを検討
- ・さまざまなスポーツを行うことができる場所を示すコンセプトを検討
- ・大宮という立地条件、地域資源を踏まえて検討
- ・東日本発祥、倉茂記念杯（GⅢ）など、大宮双輪場の歴史等を踏まえた検討

<他自治体の例>

- ・サイクル自転車を通じて、交流・賑わいが循環する競輪場（京都向日町）
- ・PARK IN KEIRIN -競輪場に公園の価値を創る-（久留米）
- ・市民に親しまれ、自転車を通じた交流の輪が広がる競輪場（防府）
- ・自転車文化を創造するハイブリッド競輪場（高松） 等

次回以降の検討委員会でご意見をいただきたい項目②

多目的競技場として想定される機能（賑わい面と防災面）の例示

コンセプト等を踏まえ、バンク、メインスタンド、選手宿舎などに想定される賑わいを創出する機能や防災機能等

<多目的競技場として付加する機能例>

B M X・マウンテンバイクなどのサイクルスポーツ、フットサル・3on3などのボールスポーツ、グラウンドゴルフ、子供向けふわふわドームや遊具、交通ルールなどを学ぶ交通公園、ボルダリング施設、イベントスペース など
(メインスタンドなどの建物内)

市民が集う交流空間（集会室・会議室・トレーニング室・スタジオなど）、キッズパーク、ボルダリング施設、防災倉庫 など

<他自治体の例>

- ・グラウンドゴルフなどの利用ができる多目的競技場（松山）
- ・陸上競技場の外側に競走路を併設した総合運動場（高知）
- ・宿舎兼ホテル（玉野、広島）
- ・NAGOYA KEIRIN BMX（名古屋）、アーバンサイクルスポーツパーク（広島）など

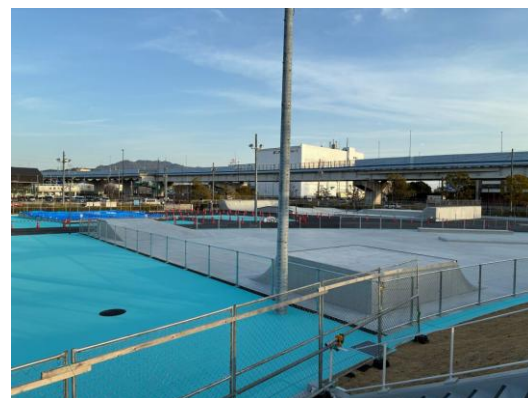
高知



玉野



広島



名古屋



次回以降の検討委員会でご意見をいただきたい項目③

競輪開催に必要な機能と規模

多目的競技場整備予定地の状況や現在の利用状況及びナイター開催・G I 開催を見据え、競輪開催に必要な機能と規模

- ・観客の収容人員の全体の規模及びエリアごとの規模（無料エリア（メインスタンド観覧所及び投票所、屋外観覧所）、有料エリア（メインスタンド観覧所）など）
- ・メインスタンドに必要な機能及び規模（競輪運営に必要な諸室、観覧・投票所エリア等）
- ・食堂、売店 ・選手宿舎及び選手管理諸室に必要な機能及び規模 等

<基本計画策定に当たっての検討の視点>

- ・グレード別（開催・場外別）に収容人員を想定
- ・選手宿舎や管理棟の非開催時の活用
- ・施設（公園）の賑わい機能を持たせるために、飲食・売店等のサービス機能を複合させた施設整備を検討
- ・オープンスペースの活用

<他自治体の例>

- ・メインスタンド、サイドスタンド、バックスタンドの3構成からメインスタンドに機能を集約しコンパクト化（熊本）
- ・メインスタンドは既存施設を解体撤去し、観客席・車券売り場・レストランなどを集約しコンパクト化（玉野）
- ・お客様スペースを約1/3にコンパクト化（収容人数：約7,800人→約1,000人）（武雄）

熊本



玉野



武雄



4. 事業の進め方

(2) 事業スケジュール(案)

- ・設計から建設、維持管理、運営といった一連の公民連携事業手法を導入することを前提とした場合の事業スケジュールを検討しました。
- ・今後、各競技施設の基本計画や事業手法（要求水準の検討）と合わせて詳細な事業スケジュールを精査します。

